

# 展覧会のポスターを創ってみよう

美術コース

## グラフィックデザイン



講師 吉本 義巳  
よしもと よしみ

### 略歴

吉本義巳事務所代表  
グラフィックデザイナー  
キャラクター商品や広告のクリエイティブディレクション、大手通信会社のポータルサイトや雑誌等のアートディレクション、パッケージデザイン、飲食施設のアート・クリエイティブディレクションを数多く手がける。関西各地の大学や専門学校、カルチャースクールでも「人々を心から楽しませる明るい力を育む」ことを基本に、後進の指導にも尽力する。

### advice points

- 会場は美術室など実習作業がしやすい教室が望ましい。
- タイポグラフィ実習の材料素材をコピーする為に会場にコピー機があればなおよい。

### 目的

- グラフィックデザインの現状、それに関わる各クリエイターの役割、広告デザインの意味や目的、制作者の意図などを理解する。

### 効果

- ロゴデザインの意味や目的、広告が社会に及ぼす効果と貢献を知る。
- デザインには仕事としての意識が大切であることを理解する。

### 到達点

- ロゴデザイン研究によって、消費者や企業の思いを知る。
- 夢を思い描くだけでなく、職業デザイナーとしての視点をもつ。



### 事前学習

広告デザイン等に用いられるロゴデザインを100個集め、考えや意見を書いてくる。

### ワークショップの流れ (3日間×2コマ/日)

広告の歴史と役割について講義

↓  
アートディレクター・コピーライター・デザイナー等の仕事について講義

↓  
グラフィックデザインと広告、文字デザインの重要性等について講義

↓  
事前学習課題の提出(講師が後日添削して返却)

↓  
コラージュ技法によるタイポグラフィ実習(ポスター制作)

↓  
講評とまとめ

### 事後学習

講師のアトリエ、雑誌編集室等の見学。

## …ワークショップを実施して…

### 講師の感想

先生・生徒ともに非常に熱心で、デザイン現場の空気感、メディアの役割・影響力が伝えられたと思う。どの生徒もモチベーションを上げ、手をよく動かして、頭の中にあるイメージを描き起こしていた。時間的制約のため、生徒の潜在能力をさらに引き出すためのコミュニケーションが十分できなかったことがやや心残りである。また、コンピュータでの制作も絡めれば、より実用性のある内容となるだろう。

### 先生の感想

具体的な説明をした上で実技指導をしていただいたので、生徒の理解が深まり、スムーズに取り組めた。現実の広告やデザインの世界を垣間見たことで、受講後、生徒たちの制作意欲はいっそう高まった。プロとの出会いは想像以上のインパクトがあったようだ。機会があれば、次回はテキスト系・イラスト系のカラー作品にも取り組んでみたい。

### 生徒の感想

- デザインに関わる色々な仕事があることなど、初めて知ることがたくさんあって勉強になった。
- 100個のロゴを集めてくる課題の意味が、実習をしてどのようなことか知れてよかった。
- これまで、広告やロゴについて深く考えたことがなかったが、今回、デザイナーがすごく努力して作り上げてきたことがよくわかった。
- 私は服のデザイナーになりたいと思っているので、受講したことを役立てていきたい。

## より発展的なワークショップを実施するために

- 普段から、お菓子などのパッケージや街中の広告などのデザインについて、考えや意見をまとめる。
- 社会における広告デザインの仕組みを理解する為に、さまざまな役割を担う人々の話を聞く。